

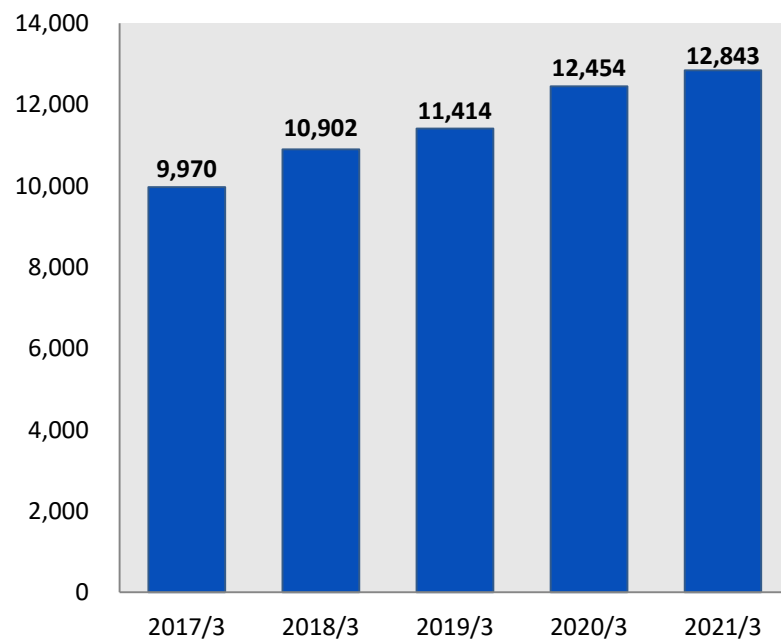
福井コンピュータホールディングス株式会社

2021年3月期 決算説明資料



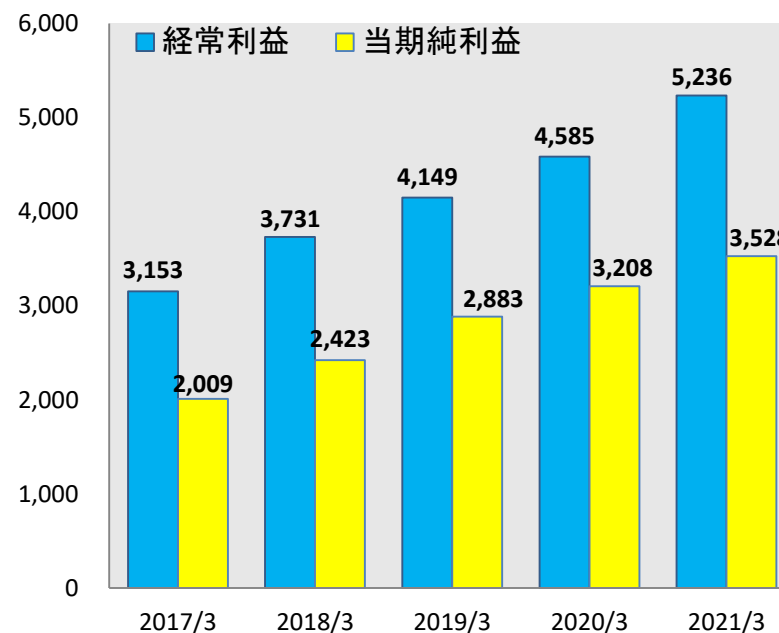
売上高

(単位: 百万円)



経常利益 / 純利益

(単位: 百万円)



- 売上高、利益ともに過去最高(5期連続で最高更新)
- 1株当たり配当額を 45円⇒50円 に増配

連結業績の概要



(単位: 百万円)

	前期	当期 (実績)	対前期 増減額	対前期 増減率	当期 (計画)
売上高	12,454	12,843	+389	+3.1%	11,900
営業費用	7,919	7,652	△267	△3.4%	7,580
営業利益	4,534	5,190	+656	+14.5%	4,320
営業外損益	51	46	△4	△9.5%	50
経常利益	4,585	5,236	+651	+14.2%	4,370
特別損益	—	—	—	—	—
法人税等	1,377	1,708	+331	+24.1%	1,400
当期純利益	3,208	3,528	+319	+10.0%	2,970
営業利益率	36.4%	40.4%			

➤ 営業利益、経常利益は前年同期比約14%増

売上高の内訳



(単位: 百万円)

	前期	当期	対前期 増減額	対前期 増減率
ソフトウェア	6,638	7,368	+730	+11.0%
保守サービス	4,578	4,871	+293	+6.4%
商品	448	526	+77	+17.4%
選挙関連	666	76	△590	△88.5%
その他	121	—	△121	—
合計	12,454	12,843	+389	+3.1%

- ソフトウェア、保守サービスは、建築、測量土木ともに前年同期比増加
- 選挙関連の売上は、大型の選挙がなく前年同期比減少

営業費用の内訳



(単位: 百万円)

	前期	当期	対前期 増減額	対前期 増減率
人件費	5,341	5,422	+80	+1.5%
商品売上原価	369	431	+61	+16.7%
賃借料	380	376	△3	△1.0%
旅費交通費	318	127	△190	△59.9%
減価償却費	203	215	+11	+5.8%
ロイヤリティ	123	152	+28	+22.8%
外注費	129	88	△41	△31.7%
その他費用	1,053	839	△213	△20.3%
合計	7,919	7,652	△267	△3.4%

▶新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、出張等を自粛したことで旅費交通費などの費用が減少

セグメント情報



(単位:百万円)

	建築CAD	測量土木CAD	ITソリューション	調整額	合計
売上高	6,078	6,599	165	—	12,843
営業利益	2,227	2,868	△68	162	5,190

(参考:前期)

(単位:百万円)

	建築CAD	測量土木CAD	ITソリューション	調整額	合計
売上高	5,480	6,306	666	—	12,454
営業利益	1,549	2,673	241	70	4,534

- 建築CAD事業、測量土木CAD事業は増収増益
- ITソリューション事業は減収減益

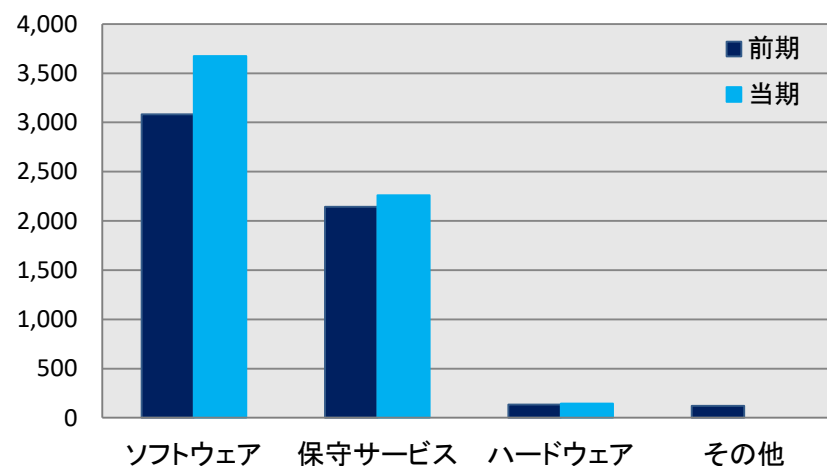


(単位:百万円)

	前期	当期	増減額	増減率
売上高	5,480	6,078	+598	+10.9%
営業利益	1,549	2,227	+678	+43.8%

(単位:百万円)

売上高内訳



- ソフトウェアは、2021年4月1日改正の建築物省エネ法を見据えたオプション販売の計上及びIT導入補助金支援が追い風となり増加
- 保守サービスは加入件数が増加

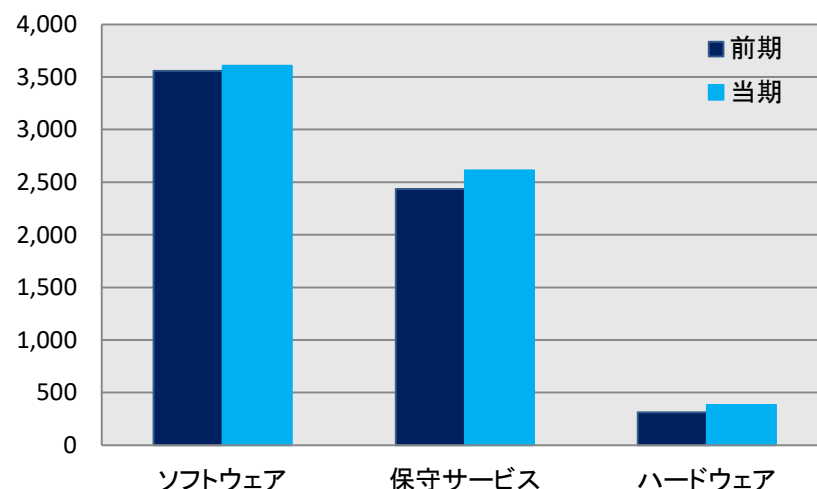


(単位: 百万円)

	前期	当期	増減額	増減率
売上高	6,306	6,599	+292	+4.6%
営業利益	2,673	2,868	+195	+7.3%

(単位: 百万円)

売上高内訳



➤ソフトウェアは、国土交通省が推進する「i-Construction」の普及及びIT導入補助金支援により増加

➤保守サービスは、加入件数が増加

(単位:百万円)

	前期	当期	増減額	増減率
売上高	666	165	△501	△75.2
営業利益	241	△68	△310	—

➤昨年度は統一地方選、参議院選の出口調査システムにかかわる売上を計上したが、今年度は大型選挙がなく前年同期比で減収減益

貸借対照表の概要



(単位:百万円)

	前期末	当期末	増減額
現金及び預金	10,543	13,598	+3,055
受取手形及び売掛金	1,592	1,757	+164
その他流動資産	797	902	+104
有形固定資産	2,411	2,442	+30
無形固定資産	162	170	+8
投資その他の資産	1,824	2,290	+465
資産合計	17,332	21,161	+3,828
前受金	2,241	2,308	+67
未払費用	317	313	△4
その他流動負債	1,867	2,643	+776
固定負債	65	188	+122
資本金、資本剰余金	3,131	3,131	—
利益剰余金	9,442	12,040	+2,598
有価証券評価差額金その他	266	535	+268
負債純資産合計	17,332	21,161	+3,828
自己資本比率	74.1%	74.2%	

キャッシュ・フローの概要



(単位:百万円)

	前期	当期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,957	4,222	+1,264
投資活動によるキャッシュ・フロー	△232	△237	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△826	△929	△103
現金及び現金同等物の増減額	+1,899	+3,055	+1,155
現金及び現金同等物の期末残高	10,543	13,598	+3,055

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
税引前利益5,236百万円、減価償却費215百万円、売上債権の増加163百万円、法人税等の支払額1,196百万円
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
配当金の支払額929百万円

2022年3月期通期業績予想



(単位: 百万円)

	当期(実績)	来期(予想)	増減率
売上高	12,843	13,190	+2.7%
営業利益	5,190	5,200	+0.2%
経常利益	5,236	5,240	+0.1%
当期純利益	3,528	3,450	△2.2%
1株当たり当期純利益	170円66銭	166円86銭	
1株当たり配当金	50円	50円	

2022年3月期は、ITソリューション事業におきましては衆議院選にかかわる選挙関連の受注を見込んでおります。

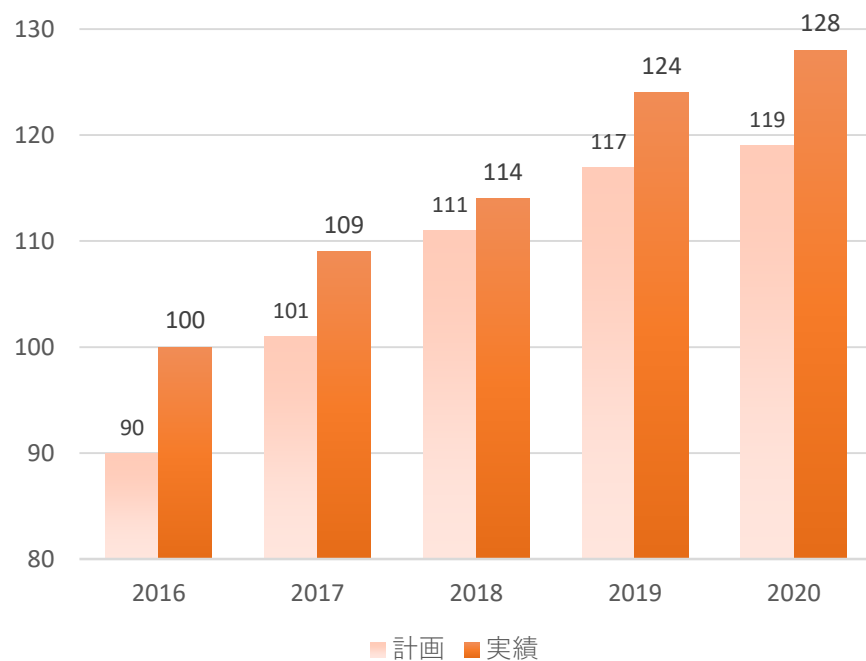
また建築・測量土木CAD事業におきましては販売経路の拡大と法改正等への対応によりソリューションの拡充を進めるとともに、継続取引社数の拡大に向け取り組んでまいります。

業績予想としましては、売上高13,190百万円、営業利益5,200百万円、経常利益5,240百万円、当期純利益3,450百万円を見込んでおります。

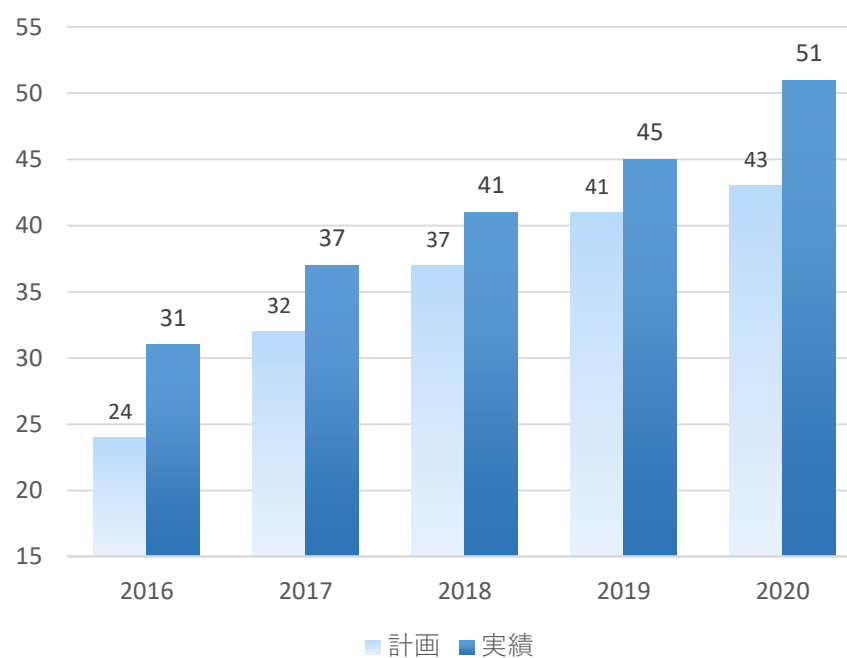
直近5年間の計画対比での業績推移



売上高（億円）



営業利益（億円）



直近30年間における業績と事象について



■ 売上高 (億円) ■ 営業利益 (億円)

